

令和6年度西区 区域まちづくり基金事業 効果検証シート

事業名称	実施主体
広げよう子育ての輪 子育て情報発信事業	西区役所 子育て支援課

事業目的	事業内容	活動指標	R4	R5	R6
西区の子育て情報を区民へ提供することにより、地域ぐるみの子育てを活性化させる。	西区の子育て支援に関する施設を網羅したマップ形式のわかりやすいパンフレットを作成し、西区への転居者や交流の場を探している区民に提供する。パンフレットに記載する情報は次のとおり。 ・区内14校区における子育てサロン、みんなの子育てひろば、区役所子育てひろばの所在地、開催日、写真等 ・行政機関の所在地及び連絡先 ・認定こども園及び保育所(園)等の所在地、連絡先、写真 ・公園、図書館等、親子で集える場所、子育てに関する相談機関の所在地、連絡先	子育てマップ配布部数	3800部配布	3900部配布	4500部
		西区役所子育てひろば「ほほえみルーム」案内リーフレット配布部数	1000部配布	1000部配布	1000部配布
		ほほえみルーム延べ利用者数	8472人	10218人	10169人

①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性
◎	◎	◎	○
子育て世帯が地域の支援資源にアクセスしやすくなるよう、子育てマップを通じて情報提供を行うことは、子育て支援課が果たすべき役割の一つであり、地域全体の子育て環境の向上に資する取り組みである。	子育てマップの作成にあたっては、保育園や子育てサロン等からの情報提供や協力を得ており、地域の関係機関との連携が図られている。また、配架においても地域の子育てサロンやサークル等に継続的に協力を得ており、地域ぐるみでの情報発信体制が構築されている。	昨年度よりアリオ鳳にて子育てマップを常設配架し、来館者が自由に手に取り、気軽に持ち帰れるようにしている。また、マップの見開きページ(西区の地図に子育てサロンや行政機関、子育てひろば、病院等を掲載)を壁一面に大きく印刷し、自然と目に入りやすくしている。 この取り組みにより、区民が子育て情報に触れ、関心を高めるきっかけとなっている。市民からは好意的な反響が続いており、マップを眺めたり持ち帰る姿も多く見られる。見やすく手に取りやすい情報ツールとして、日常的に活用されている。	窓口での相談時の配布や、ほほえみルーム、地域の施設での継続的な配架により、必要とする人に効率よく情報を届けることができている。マップは一目で内容が把握できる構成となっており、必要な情報を短時間で得られる点が区民から好評を得ている。

⑤自立発展性	総合評価
△	◎
当該事業は、子育て情報を区民に提供し、地域ぐるみの子育てを活性化させることを目的としているため、行政が主体となって実施することが重要である。	地域の子育て支援施設や交流の場に関する情報を一元的にまとめたマップは、日常の子育てに役立つ情報が集約されており、特に初めて西区に転入した家庭や育児に不安を抱える家庭にとって、安心感を与えるツールとなっている。関係機関との連携も進み、地域全体で子育てを支える体制づくりに貢献している。

今後の方向性(課題、改善提案等)

拡充 継続 見直し 廃止	・子育てマップは、令和7年度も予算を計上し、デザインを刷新して新たに作成する予定。ほほえみルーム案内リーフレットについて、令和7年度に予算を計上し、一部改訂増刷の予定である。 ・アリオ鳳での配架は一定の効果があつたが、設置から時間が経過し、持ち帰る人が減少傾向にあるため、関心を引くためにデザイン等の更新や設置場所の見直しが必要である。 ・より多様な配架先(おおとりウイングス、病院等)を開拓し、情報提供の幅を広げる。 ・現在、ホームページ上でマップのPDFを閲覧できるようになっているものの、活用のしやすさ、見やすさの点ではまだ改善の余地がある。今後は、紙媒体に加え、スマートフォン等でも簡単に情報を得られるような提供方法を考えたい。
-----------------------	---